



- ・介事連の全国大会
- ・適正な職業紹介事業者  
53社に

2025

11月号

# Nuovo Ponte

## 事業者を取り巻く厳しい環境 介事連が全国大会で「現場を守る」決意を新たに

### 理事長の決意と大会の内容

一般社団法人全国介護事業者連盟(以下：介事連)の全国大会が10月に大阪で行われ、当日は介護事業者ら約1500名が参加しました。東京以外での開催は初となります。

齊藤正行理事長は冒頭の挨拶で、「物価高など事業者を取り巻く環境が極めて厳しい中で『介護・福祉の現場を守る』ということだけは絶対にぶれないで活動を続けていく」と表明しました。

午後は3つの会場で分科会が行われ、「持続可能な介護保険制度と経営改革」というテーマでは、9事業者による実践発表がありました。主な内容は以下の通りです。

#### 大阪で行われた全国大会の様子



人が辞めない前提で組織を『属人化』するか、人の入れ替わりを見越して『標準化』を図るか、重要な選択を迫られている。自社は「標準化」を目指して人事評価制度の工夫などを進めている  
(株式会社RARECREW)

「働きやすさ」を前面に打ち出し、人口が急減する地方都市での人材確保に成功。高い愛社精神が事業拡大の絶対条件 (NPO法人あいあい)

カリスマ性のある創業者から事業承継。自分たちに合った集団経営体制を構築した  
(有限会社親和)

**自走していない施設の譲受と  
“対話”と“現場主義”による人材定着**

コラムでお客様の声を詳しく載せて  
います→



※ 参照：週刊高齢者住宅新聞

参加してみて

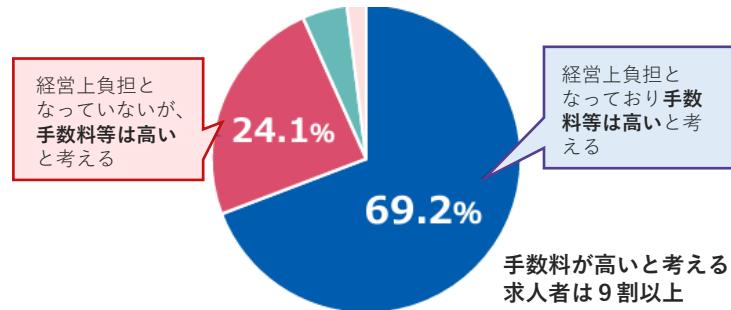
CBパートナーズも賛助会員のため、大阪大会に参加しました。分科会の発表では、どの事業者にも共通する課題を前向きに捉え、解決を取り組んでいた点が印象的でした。事業承継も含めたテーマの参加者が多く、とても盛り上がりを見せた大会でした。(弊社アドバイザー)



## 適正な職業紹介事業者、医療・介護・保育で53社に

医療・介護業界では、職業紹介事業者への手数料高騰が問題となっています。さらに高い手数料を支払って採用した人材が早期離職することも多いため、採用コストばかりが増加しているのが現状です。そこで、厚労省は2021年度に「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者の認定制度」を創設し、職種別の手数料の公表や、早期離職時の返戻金制度の設置など、一定の基準を満たした事業者を「適正認定事業者」として公表。採用側が安心して事業者を選択できる環境を整え、適材適所の人材確保と職場定着の促進を図ることを目的としており、現在は3分野で53社が登録されています。

### 紹介手数料が経営に与える影響



出典：厚生労働省「医療・介護分野における職業紹介事業に関するアンケート調査 令和元年12月」

### 【介護分野の一例】

- 株式会社ツクイスタッフ（かいごgarden）
  - 株式会社キャリアシステム（メディケアキャリア）
  - 株式会社ALC（アルク介護）
  - レバウェル株式会社（レバウェル介護）
  - 株式会社マイナビ（マイナビ介護職）
- など

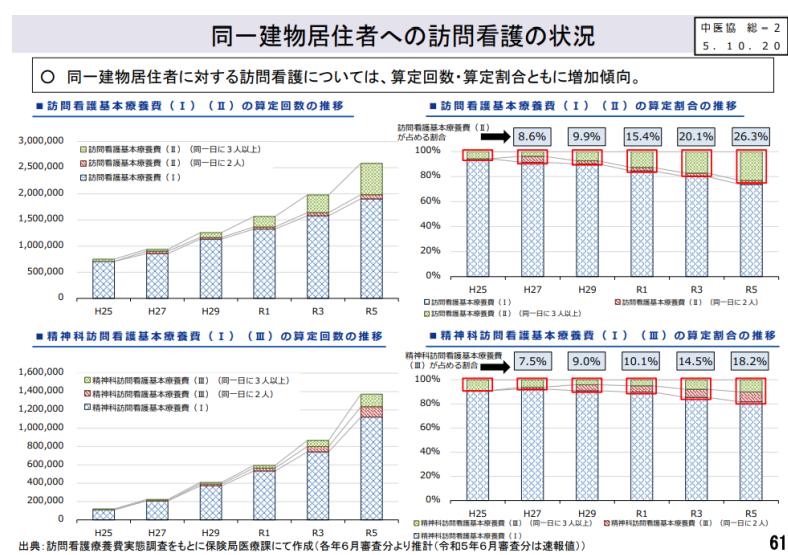
[認定事業者一覧はこちら→](#)



## 訪問看護の過剰提供、規制強化へ

厚労省は2026年度の診療報酬改定に向け、訪問看護の過剰提供・不正請求の防止に向けた規制強化の方針を明らかにしました。今後の制度改定にあたっては、以下の点が重要となるでしょう。

- 訪問看護の必要性の明確な判断
- 算定体制の透明化・監査強化
- 質の担保とバランスの確保



出典：中央社会保険医療協議会 総会（第618回）

## 【無料】介護・福祉事業の経営や承継相談はCBパートナーズまで！

お問い合わせ

☎ 0120-979-544 (9:00~18:00 平日のみ受付)

株式会社CBパートナーズ 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目18-16 住友浜松町ビル5F <http://www.cb-p.co.jp>

CB PARTNERS